

日本演劇学会2023年度 秋の研究集会「演劇と共生社会」プログラム

11月11日(土)		1日目	
12:00	受付開始 4号館1階入り口		
	研究発表① ルーム1 4号館1階 416教室 司会:梅山いつき(近畿大学)	研究発表② ルーム2 4号館1階 417教室 司会:中島裕昭(東京学芸大学)	研究発表③ ルーム3 4号館1階 418教室 司会:新沼智之(玉川大学)
13:00	共生社会の土台をつくる演劇的創作と古典教育のシナジー効果:中学校国語科の授業における生徒の情動的成長に着目して  梁 梨花(慶應義塾大学大学院)	日本の演劇教育における「コミュニケーション能力」の意味  樋口 史都(広島大学大学院)	ミハエル・クンツェの作品に登場する「分身」の特異性 -ミュージカル『エリザベート』とアンドリュー・ロイド＝ウェバー版『オペラ座の怪人』を比較して-  松尾 ひかり(明治大学大学院)
13:40	劇場における共生社会の実現に向けて ~「ダンテライオンズ」からわかること~  仙石 桂子(四国学院大学)	「地域の物語を演劇にする」を通じて学ばれること  森 玲奈(帝京大学)	『自由な解釈』をめぐるドラマツルギー—デビー・タッカー・グリーン ear for eye (2018)における配役の指示と政治的可能性  伊藤 寧美(東京大学)
14:20	演劇は共生社会を深化させうるか — Kyoto演劇フェスティバルのデータから  椋平 淳(大阪工業大学)	ライフストーリーを作品化する~語りと共生  岡原 正幸(慶應義塾大学)	
15:00	休憩・移動		
15:10	開会式 エリザベス・リー ホール  会長挨拶:小菅隼人(慶應義塾大学) 会場挨拶・趣旨説明:須川渡(福岡女学院大学)		
15:35	開催校セッション① 地域劇場における住民参加 - 演劇と出会う場のあり方をめぐって エリザベス・リー ホール		
15:40	内村陽一郎(元三股町立文化会館職員) 吉松寛子(北九州芸術劇場「Re:北九州の記憶」企画プロデューサー) 龍亜希(北九州芸術劇場プロデューサー) 古川知可子(ピッコロシアター 広報交流専門員) 須川渡(司会・福岡女学院大学)		
18:00	懇親会参加者はバスで移動		
19:00-21:00	懇親会 会場:グランドミラージュ(〒810-0021 福岡県福岡市中央区今泉1-17-16)		
11月12日(日)		2日目	
9:30	受付開始 4号館1階入り口		
	研究発表④ ルーム4 4号館1階 416教室 司会:阿部由香子(共立女子大学)	パネルセッション ルーム5 4号館2階 421教室	
10:00	岡田八千代『名残の一曲』における琵琶の意味—原話との比較を通じて  大串 雛子(明治大学大学院)	聴覚障害のある観客も楽しむための観劇サポートの現状と課題 —字幕サポートを中心に—	
10:40	1920年代宝塚少女歌劇における中国伝統演劇の受容 —京劇の宝塚大劇場公演とその影響—  馮 縁(大阪大学大学院)	山崎有紀子(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク) 廣川麻子(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク) 大嶺可代(沖縄県立芸術大学 芸術文化学研究所) 萩原彩子(司会・筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)	
11:20	『愛染かつら』上演に見る戦前期新派の状況 —「新派的」というイメージの形成  藤崎 景(明治大学大学院)		
12:00	昼休み 理事会(125周年記念館5階 第8会議室)		
13:30	開催校セッション② 共に生きる場から演劇を再考する — 実践の現場から エリザベス・リー ホール  五島朋子(鳥取大学) 菅原直樹(劇団OiBokkeShi) 長津結一郎(九州大学) 森田かずよ(Performance For All People.CONVEY)		
15:45	閉会の辞 副会長挨拶:林公子(近畿大学)		
16:00	終了		